

作製が困難だったスフェロイドの作製に！

スフェロイド作製受託サービス

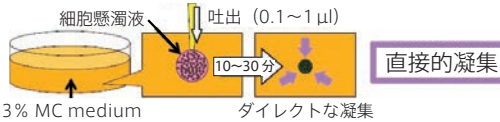
横浜市立大学 小島准教授（再生生物学研究室）が開発したスフェロイドの作製技術・研究成果をもとに、形状、サイズ、内部構造などのご要望をヒアリングしながら、スフェロイドを作製します。

ここがすごい

スフェロイドを作製するために、ハンギングドロップ法や低吸着性のU底ウェルプレートがしばしば用いられてきました。この方法は間接的凝集に依存しており、細胞接着力が弱い場合、スフェロイドを効率よく作製することができません。

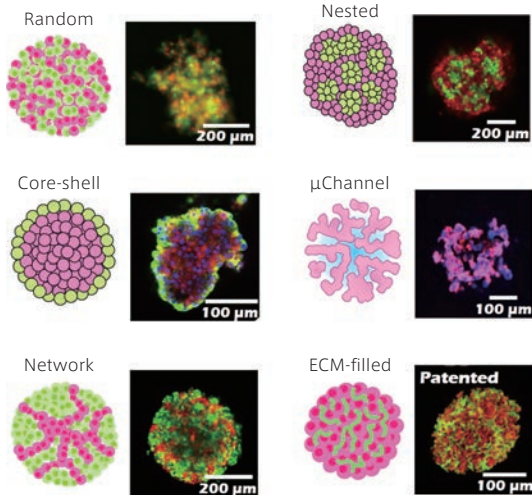
エコセル(株)では、3%メチルセルロース (MC) 培地を用いて、細胞の接着力に依存せずに細胞を強制的に凝集させる方法で、スフェロイドを作製します。これにより従来法では作製が困難な接着力の弱い細胞のスフェロイド化に成功しています。

エコセル(株) 3% methylcellulose (MC) method



スフェロイドのカスタマイズ例

エコセル(株)では「細胞凝集体」の内部微細構造を自在に設計するための技術群を開発しており、高分子を細胞と共に凝集させる独自技術（特願 2017-517982）を有しています。2種類の細胞のスフェロイドのみならず、高分子（ハイドロゲルビーズ、コラーゲンなどのECM）を配合したスフェロイドの作製も可能です（μChannel, ECM-filled）。まずは、スフェロイドデザインのご要望をお聞かせ下さい。



Random : 2種類の細胞混合
Core-Shell : 脾β細胞 (赤)、脾α細胞 (緑)
Network : 肝細胞 (緑)、血管内皮細胞 (赤)
Nested : ヒト脾島細胞を模した入れ子構造のスフェロイド。脾β細胞 (緑)、脾α細胞 (赤)

スフェロイドの作製実績例

HuH-7, HepG2, U87-MG, TMNK-1, HCT116, HEK293T, NIH3T3, MMNK など

ご注文方法/価格

詳細は当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

[メーカー：ECO]



© 樹庵じゅあん

CiMS ヒト間葉系幹細胞用
無血清培養液

培養容器へのコーティングが不要なヒト間葉系幹細胞 (hMSC) 用無血清培養液です。

特長

- hMSC の自己複製能、および分化能を維持しつつ、長期培養を可能にします。
- hMSC を用いた骨・脂肪・軟骨への分化能を確認しています。
- 血清・成長因子の添加は不要です。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
CiMS-BM <ヒト間葉系幹細胞用基礎培養液>	KSK	87-070	500 ml / 17,400
CiMS-sXF <ヒト間葉系幹細胞用基礎培養液ゼノフリー添加物質>	KSK	87-071	10 ml / 48,000
CiMS-sAF <ヒト間葉系幹細胞用基礎培養液アニマルフリー添加物質>	KSK	87-072	10 ml / 65,000

※用途に合わせて上記いずれか（ゼノフリーまたはアニマルフリー）の添加物質を基礎培養液（#87-070）と組み合わせてご購入下さい。